

芭蕉元祿事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十六年二月度 入選句（投稿総数千八百四十六句・一般投句数五百五十五句）

特選

選者 大橋 庄一郎

愛でようか 嘆くか 惑う寒景色 栃木県河内郡 下部 喜者

寒中の景色は静かに落着いて、時には雪も混じり閉静閉寂で、侘び寂の景色を愛でるのか、色彩感覚乏しく活性化や躍動感も無くしかも寒く、人生で云えば中高年以降の様な状態を嘆くのか、人生観にも通じ深い考をお持ちの方で、いい俳句も出来る方だと思えます。

年賀状余白に添ふる一句かな 愛知県豊田市 城山 憲三

宛名も本文も活字が多い年賀状の中で、本文に添え書きがして有るのを楽しんで読む方が多いと思います。その中でも俳句が添えて有ると年賀状が生き生きとして来ると思うのは、俳句愛好者の勝手な思いでしょうか、来年の年賀状には是非一句をどうぞとお推め致します。

ひま 同士ぐち 話 咲き春ごたつ 大垣市 溝渕 君子

女性の中高年の方だと思う、その方たちはもう勤めもなく、子育ても終り、精精習い事、稽古事、クラブ活動位でひまが多い、仲間同士が春ごたつに入り、世間話、友人や家庭の事、時には旦那の評価などぐち話も交え話し合はれるのはストレス解消にもよく、女性長生きの秘訣かもしれない、楽しんで下さい。

秀逸

腕白も 畏み 御慶の顔となる 不破郡垂井町 北村 照子

マラソンの 城下 駆けゆく 年 新た 大垣市 久保田 悟義

大寒や 空に 孤高の月 ありて 各務原市 集 散 人

春立つや 駅前ビル の 再 開発 大垣市 秋山 くに子

鴨鍋や 湖見 へる 席 予約して 大垣市 中山 あや子

ちりかねて くれな しいや ますか えで かな 大垣市 前田 照

蜜柑剥く 今の 幸福し みじみと 岐阜市 鈴村 八重

大寒に 小手 面 胴の 声 響く 鳥取県東伯郡 西東 彩東

春立ちて ソチの 日の丸 まぶし かり 大垣市 藤井 早苗

寝不足や 五輪 開幕 冬の夜 大垣市 谷 睦月

入選

初稽古下手の横好き半世紀	不破郡垂井町	江崎 真一
おでん鍋苦楽を語る戦中派	不破郡垂井町	北村 照子
息災の一家団欒初笑	不破郡垂井町	児玉 信子
ふゆのそらはなれしきみのさちねがう	兵庫県芦屋市	石井 美香
冬木の芽生きる喜び目ざめさす	大垣市	中尾 恭子
三寒の四温を待ちて街に出る	大垣市	安部 芳枝
凜として雪嶺雲を寄せつけず	大垣市	末守 節子
雛飾ることのうれしき老いてなほ	大垣市	岡田 あや子
冬の夜や鍋囲む人みな笑顔	岐阜市	鈴木 八重
白々と東の空に薄明かり	北海道富良野市	柴田 案山子

入選

篝火に心あたため初詣	大垣市	久保田 悟義
栗御飯みんなで褒めて笑みし妻	大垣市	安田 直隆
伊吹嶺万身に浴び初日の出	不破郡垂井町	富田 実郎
放水に冬の虹生む消防車	不破郡垂井町	久保田 紘義
厄落し禊の川へ人なだれ	大垣市	川瀬 貞枝
トンネルを出て銀嶺を拝しけり	大垣市	草野 恵子
子や孫に世相教わる松の内	埼玉県	藤本 和佑
除夜の音に身を撞かれつつ年を老ふ	瑞穂市	井上 源人

選者吟

お辞儀され誰か分からぬ大マスク

大橋 庄一郎